

セルフカラーする前に 知っておくべき予防法



内野信一

ヘアカラーをするうえで理解しないといけない事
これを読まずにセルフカラーはしないほうがいいでしょう。
もし記事を読んで面倒だと思えば美容室に頼むべきです。

これを読まずにセルフカラーはしないほうが良いでしょう。
もし記事を読んで面倒だと思えば美容室に頼むべきです。
では行きますよ。

ヘアカラーをするうえで 絶対に理解しないとイケない事

一般的なヘアカラー（白髪染）の成分は、

1 剤は**アルカリ+色素**。

2 液は**過酸化水素水**

ブリーチ剤は・・・

1 剤は**アルカリ**

2 液は**過酸化水素水**

見比べてください！

一般的ヘアカラー（白髪染）は**ブリーチ剤+色素**です。

白髪染なんて毎月する人が大半です。毎月ブリーチしているんですよ。考えただけでも怖いですね。もちろん綺麗に染まって明るさを出す、持ちも良い、これが一般ヘアカラーの長所です。正直白髪染には欠かせません。

他にもヘナ、カラートリートメント、ヘアマニキュア・・・いろいろありますが全て染まりは悪いし明るさは全く出ません。長所は傷まない事、こういったカラー剤の特徴はしっかり理解してください。

ヘアカラーの成分について書きましたが今度は技術的な理論を書きましょう

最も大事な事は

根元（新生部分）と既染部分（過去に染めたところ）の塗りわけ

現状の髪傷みは、根元は当然傷みはありません、しかし毛先になればなるほど傷みも激しいです。これが髪の状態です。

だとすれば

根元は刺激があったとしても、良く染まり持ちの良い一般的カラー剤が良いですね。（望む明るさカラー剤を選択）

しかし

毛先の方は絶対、根元と同じカラー剤は使ってはいけません。毛先は傷みがあるという状況。 当然傷みにくいカラーを選択する、それはブリーチを起こさないように（2液の過酸化水素水濃度を極端に落とす）または傷まないようにカラートリートメントなどを利用する。

それと考えるべきは・・・

過去の色素が残っているという事、根元と同じような色素を載せると色素重合で（色が重なって）真っ黒になります。よって、明るめのカラートリートメントを利用したり、色素濃度を落としたり（薄める）の工夫が要ります。

いかがですか？

カラーは他の技術と違って素人でもできるような技術である事は確かです。塗るだけの技術ですから。しかし、理論はしっかり理解しておかないと真っ黒になった、髪が酷く傷んだ、縮毛矯正したらビビリ毛になったなんて事につながります。

カラーの質問される方の大半は基本的な事を理解していないという事なんですね。

例えば、

当方でも発売しているカラーバター（カラートリートメント）

＞髪を明るくしたいのですが、ライトブラウンかイエローで染めると明るくなりますか？

＞ディープブラウンで全体染めたが、全体黒くなった、でも根元の白髪は染まらなかった。

上記の理論が理解出来たら間違いに気づくと思います。

毛先部分にイエローでもライトブラウンでも色素をくっつければ、今以上暗くなります（色素重合）明るさは全く求められません。

明るくするのはブリーチの仕事です。

カラーバターで白髪（根本）を染める時はアルカリを混ぜたりブ
ラックを混ぜたりしないとイケません、もちろん明るさを求めるのは難しいです。この様に根元と毛先は条件が違うので、必ず対処も変えるという事ですね。

この方法をリタッチ法と言いますが、これは絶対的に必要な知識です。

★ではここからは上記の理論を理解いただいたと思いますので
応用したエクササイズと行きましょう。

**あなたはしっかり綺麗に染まり
傷みにくいヘアカラーをご希望ですか？**

それを知りたいですか？

誰も教えない、そのテクニックとは、、、

市販カラー剤の特徴は

アルカリ度数（アルカリの量）が高い事（1剤、カラー剤のほうに含まれています）

簡単に言うと、これを薄めれば良いのですが、でも、これでは色素濃度も落ちて、白髪の場合カラーの入りが悪くなります。

そこで、アルカリ度数を落として、色素濃度を変えないために

※「カラーバター」を薄め剤として利用します。

（これは PH6.5）アルカリ度は落ちますが色素は薄まりませんから色はしっかり入ります。

※コレでダメージの原因である、アルカリと過酸化水素の濃度が薄まります。ブリーチが必要以上に効き難くなりますが、色素濃度は落ちませんので色はしっかり入ります。

通常クリームタイプのヘアカラー剤とカラーバターのミックス方、これによりダメージを半減した方法をとると、明るさ、染まり、持ち、その全てにおいて理想のカラーに近づけるは可能。

注意：カラーバターの配合量が多くなるほど低刺激の薬剤になりますが、白髪が多い場合は、やや浮きやすくもなります。

★ここで大事な事は上記ミックスカラー剤は、

白髪染など**根本**リタッチ用の薬品と理解ください。薄まったといえどもブリーチは効きますので、全体（既染部）は明るいカラーバターのみでの処理をお勧めします。参考記事⇒ <https://kf-shop.ocnk.net/page/9>

前処理では、お決まりの[フィルアップローション](#)2倍液、傷み乾燥が激しい毛先には[リードオイルK](#)を塗布、

その後カラー塗布

カラー剤には[カラーバター](#)を入れて、更に [ペリセール](#)を5%配合、

最後にはメンディングメイド（コレは絶対必要）

いかがですか？

これだけやったら、技術行程は別として薬品、前処理、アフター、としてハイレベルな処理工程になります。

PS,

これはセルフカラーの方には必需品、傷み退色が違ってきます。

↓

<http://kf-shop.ocnk.net/product/90>

セルフヘアカラーする前に知っておくべき予防策

著者紹介

ヘアクリニック髪風船 店長：内野信一



美容サロン経営

30年で延べ3万5000人以上の縮毛矯正歴！
髪相談等、毎月600件以上の問い合わせ！
毎月10万回以上のアクセスを誇る

自社HP <http://www.kamifu-sen.com>

全国の強いクセ毛・損傷毛で悩んでいる方が訪れる事がその信頼性と実力を物語る!!

しかし本当のヘアケアは美容室にあらず、ホームケアこそ最も大事が信念。そこでプロ用商材（サロンで使用している製品）を自宅で毎日使って頂き最高の結果を出してもらいたい、その為のアドバイスを中心に提供しています。

ケア剤提供 <http://kf-shop.ocnk.net/>

著書 (電子書籍でアマゾンより出版)

- セルフヘアケアの教科書
- 髪を綺麗にしていく為のヘアカラー読本
- プロが教えるホームケアテクニック



J.B.C ACADEMY

Beauty Clinic Artist

縮毛矯正、クリニカルヘアカラー、

ヘアエステ等のヘアクリニックサロン

アマゾンキンドルより電子書籍発売中

髪を綺麗にしていくための ヘアカラー読本

セルフヘアカラーのあなたへ、そうヘアカラーの技術はやさしい。しかし・・・

Kindle版
¥0 kindleunlimited

読み放題対象

このレポートを読んでもらえば、何が間違いで、どうすれば髪を傷めない綺麗なヘアカラーができるかわかります。もし今ヘアカラーに不満があるのならぜひしっかり読み込んでヘアカラーマイスターとなってください。



内野信一

髪を綺麗にしていくための ヘアカラー読本

ヘアカラーは理論です。
そう、ヘアカラーの技術は簡単!
しかし・・・

髪の傷み悩みを全て解決できる！状況に
応じた対応法があります。

セルフヘアケアの教科書

Kindle版
¥0 kindleunlimited

読み放題対象

基本的に傷んだ髪が元の髪に戻る事はありません。補修剤も、タンパク質だCMCだと言っていますが、やはり疑似成分に過ぎないのです。髪に完全同化する事はありません。その補修剤次第で、定着率はかなり違うので効果も違いますが、やはりシャンプーとともに抜け出し取れてしまいます。



内野信一

セルフヘアケアの教科書
髪の傷み悩みを全て解決できる！
状況に応じた対応法があります。

あなたはサロンケア派？ホームケア派？
これを理解できれば自宅で簡単に
理想のヘアケアが可能に!!
5000人超のハイイメージで髪のもっとの悩みに受ける
髪が戻るヘアケアとは・・・

ヘアケア最新レポート (E-book) はこちらから↓

髪風船出版 公式ダウンロードサイト

髪の状態に応じて問題解決いたします。必要なe-Bookをすぐにゲット!

ヘアクリニック 髪風船
e-Book